____(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 ____(市町村分) 個票

自治体名 福井県鯖江市

本事業の担当部局名 健康福祉部こどもまんなか課

					本事未の担			- IT HIV	_ともまん	<i>5</i> / .	ν μ/N		_
事業メニュー			ライフデザイン・結婚支援重点推進事業										
区分		一般メニュー											
関連事業メニュー		1_1_1 結婚支援センターに関する取組											
個別事業名			鯖江市ふく恋マッチングシステム登録料助成事業							新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	新規		
実施期間			令和7年4月1日			~ 令和8年3月31日			事業開始年度	令和7年月	叓		
総事業費(A)(円)			240,000			寄付金その	付金その他の収入予定額(B)(円) 0				差引額(A-B)(円)	240,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額			240,000										
		区分	諸謝金		賃金 報償費		資費	旅費			需用費	役務費	
費用内	総	事業費		0	0		0	0			0		0
	対象経費	費支出予定額		0	0		0	0			0		0
	対象外経費支出予定額			0	0		0	0			0		0
		区分	委託	料	使用料及び賃借料	備品	島購入費	싙	自 担金		補助金	計	
訳		 事業費	X # 0			0		240, 000		0		. 000	
用 用		ディス 費支出予定額		0	0		0		240, 000		0		, 000
	対象外経費支出予定額			0	0		0		0		0	210,	0
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け			内容について定め、鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略を上位計画とし、関連する分野別計画と連携しながら計画を進める。近年、当市の出生数は減少傾向にあり、当市の人口は自然減を社会増で補う形で維持していたものの、令和4年度になり社会減に転じ、死亡者数が大きく増加したこともあり1%近い人口減がみられた。今後も社会減が続けば自然減とあわせ人口減少が続いていくと見込まれる。 <本個別事業の位置付け> 県および県内全市町で運営するふくい結婚応援協議会が管理する「ふくい婚活サポートセンターマッチングシステム」登録者負担金の助成を導入し、婚活支援を推進する。										
	番号	項	目	内容									
個別事業の一	1	マッチングジ録者負担金	ステム登 結婚を誠実に希望する市内在住の20歳以上の男女を対象に、ふくい婚活サポートセンターマッチングシステムの助成 の登録料の助成を行う。システムの利用は登録から2年間有効で、登録料が1万円必要となる。市民の登録にあたっては、登録料の支払を半額の5千円とし、残りの5千円は市がふくい婚活サポートセンターに支払う形をとり、間接的に市が登録料の半額助成を行う。なお、登録後助成対象外であることが判明した場合は、追加で登録者に対し残りの5千円の支払いを求める。登録料の助成にあたっては、登録時に市内に住民登録があること・市税の滞納がないことの2点を市が確認し、要件を満たした方のみ助成を行う。										
	2												
容	3												
	<過年度の本個別		事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>										
1													

		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
少子化対策全体の重要	婚姻件数		件	320 (令和7年)	260 (令和5年)	
業績評価指標(KPI)及び	O歳児のノ	LΠ	人	520 (R8.1.1時点)	497 (R6.1.1時点)	
定量的成果目標						
※全事業共通						
	項目			直近の実績値(時点)		
参考指標	合計特殊	出生率		1.42 (令和4年)		
※全事業共通	婚姻件数			260 (令和5年)		
	婚姻率			3.8 (令和5年)		
		KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)	
	番号	項目				
		(アウトプット)				
	1	ふく恋マッチングシステムの市内登録者数	人	120 (R8.3.31時点)	98 (R6.3.31時点)	
	2	ふく恋マッチングシステムの年度登録者数	人	60 (R7年度)	56 (R5年度)	
	3					
	4					
個別事業の重要業績評	5					
価指標(KPI)及び定量的		(アウトカム)				
戓果目標	1	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%			
	2	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%			
	3	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%			
	4	成婚者数のうち、ふく恋マッチングシステムを用いて成婚した市内在住者	人	10 (R7年度)	7 (R5年度)	
	5					
	6					
	7					
	8					